



谷口 典隆議員
企画総務消防常任委員会

Q 昨季の大雪時の課題を踏まえ、除雪を委託する業者との協議結果は

A 市立病院前の市道は1社が専属的に除雪にあたるなど計画を見直す



その他の質問

- ・市道と県道が連絡する交差点の除雪は
- ・フェーズフリーの概念による公園整備は
- ・指定管理やPFIによるお浜御殿の運営は

Q 昨季の大雪時の課題を整理し、課題解決に向けて関係機関にも要望されていると思うが、除雪を委託する業者へのヒアリングや協議の結果は。

A 除雪作業に係る改善点や提案についての聞き取りを実施し、除雪路線延長の拡大や縮小、除雪車両などの保有台数の調査を行った。複数の業者から車両台数を増やすことが可能との回答を得られたため、作業費や機械経費について補正予算を提案させていただいた。

また、効率的な除雪作業が行えるよう、委託路線の割り当てや車両の配置について検討するとともに、昨年度の大雪で特に影響があった彦根市立病院前の市道については1社が専属的に担うこととし、同路線に除雪機械を常時配置し、集中的に除雪を行う等の計画見直しを検討している。



▲昨年度の大雪時の市立病院前の市道



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 学校での水泳時のラッシュガード使用は

A 全ての小中学校でラッシュガードの着用を認めている



その他の質問

- ・パートナーシップ制度について
- ・女性管理職について

Q 市内小中学校での、水泳時のラッシュガード使用はどのようになっているか。

A 文部科学省が示す、「水泳指導の手引き」によると、水着に関しては、水中での動作が行いやすいものを使用するよう、指導することとされている。現在は、全ての小中学校でラッシュガードの着用を認めており、今年度の水泳学習でも、多くの児童・生徒が着用している。

Q 学校の水泳授業にて、ジェンダーレス水着の使用は、どのようになっているか。

A 市内小中学校では現在、特定の水着の使用を指定していないため、ジェンダーレス水着についてもラッシュガード同様に、水泳学習に支障がない限り自由に着用することができる。



▲子ども用ラッシュガードのイメージ



上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q 今後彦根市としても商品軽自動車
に対する課税免除を実施しては

A 地方税務協議会において県内の
他市町と共に研究していきたい



その他の質問

- ・立花船町線の活用について
- ・県予算等に対する要望書について

Q 今後彦根市としても商品軽自動車に対する課税免除を実施すべきでは。

A 現在、県内市町において、商品軽自動車の課税免除が実施されていないことや過去に本市が見直しを行った経緯等を踏まえ、現時点において再開することは難しいものと考えている。
しかしながら、他縣市町において課税免除が実施されている自治体の状況や、県税である自動車税では、月割の商品車減免が適用されるなど、税制上、異なる取り扱いがされており、事業者の理解が得られにくい状況であることも認識している。
こうしたことから、商品軽自動車税に係る課税免除の取り扱いは、全国の動向に関して情報収集に努めるほか、滋賀県が主催する地方税務協議会において、県内の他市町と共に研究してまいりたい。



▲彦根市にある中古自動車店



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 河瀬公園整備事業は長年の答弁
を十分踏まえ推進されているか

A これまでの議会答弁をしっかりと
踏まえ一刻も早く推進していく



その他の質問

- ・ごみのポイ捨て対策について
- ・荒神山古墳の観光促進について
- ・公共交通の整備推進について
- ・彦根中学校増改築工事について

Q 河瀬公園整備の進捗状況は。

A 用地取得は何とか今年度中に完了予定。工事は、一部完了した約3,100㎡を本年7月に供用開始する等、進捗率は予算ベースで約80%である。

Q 緑の整備推進と利用者の安全確保は。

A 安全性に配慮し外周には見通し確保のため常緑樹の低木を配置、また芝生をたくさん敷き緑化の確保と子どものけがの軽減を図り、更に防犯カメラの整備等も行う。

Q 一刻も早い完成、地域住民や地元自治会との緊密な協議、交通事故や不審者等による事件等の防止、防災機能の確保等、私が平成の時代から長年取り上げてきた答弁を踏まえた整備推進が図られているか。

A これまでの議会答弁をしっかりと踏まえ、令和5年度の完成に向け一刻も早く事業を推進していく。



▲やっと一部供用が開始された河瀬公園の遊具広場



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q マンホールトイレを増やしていくべきでは

A 他の小学校等への設置を検討する必要がある



その他の質問

- ・ごみ減量で処理施設の規模を小さくし財政を立て直すことについて
- ・稲枝駅の駐輪場について

Q マンホールトイレとは。

A あらかじめ避難所の敷地に下水道管を引き込み、災害時にはマンホールの蓋を開け、その上に組立式のトイレを設置するもの。本市のものは、災害で水道が使用できなくても、貯めた水を流して多量の汚物を下流部に排出できる。

Q 設置済みのマンホールトイレの場所と数は。

A 指定避難所のうち、佐和山小、平田小、城東小に各15基設置している。市役所本庁舎にも10基あり、合計で55基。

Q 計画的にマンホールトイレの設置を推進すべきでは。

A 今年度、プロシードアリーナに15基を設置予定。その他の新たな設置は、現時点では予定していない。しかし、大規模な災害時に衛生的な避難所生活を送るために、他の小学校等への設置を検討していく必要があると考える。



▲マンホールトイレのテント内部

予算常任委員会

補正予算案6件を審査

予算常任委員会は、9月20日(火)、28日(水)、10月13日(木)に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第66号、 議案第67号、 議案第68号
議案第69号、 議案第87号、 議案第89号

【主な質疑】

○議案第66号に対して

<小規模事業者デジタル化推進事業について>

Q ウィズコロナ、業務効率化、生産性向上等のための新規の購入だけでなく、更新にも活用できるのか。

A 事業計画に事業効果等を記載し、商工会議所・商工会の確認を得られれば対象となる。

Q 申請額が予算額を上回った場合の対応は。

A 事前申込を受け付け、申請予定額総額が予算を上回った場合は予算の範囲内で抽選により決定する。

<キャッシュレス決済ポイント還元事業について>

Q 昨年末に実施した時の実績は。

A 約2億8千万円分ポイント還元し、消費額は9億5千万円であった。

【主な討論】

○議案第66号に対して

反対 感染症対策や物価高騰対策として国からの交付金のほとんどが使われているキャッシュレス決済ポイント還元事業は、制度を利用できる市内業者が限られており、ポイント還元できる市民も限定的であるため公平性の観点から疑問である。

この事業は、消費税10%増税への緩和策として軽減税率やプレミアム商品券と一緒に導入されたものであり、地域経済の活性化をはかるためには消費税の5%への減税こそが解決策でありキャッシュレス還元事業が含まれる議案に反対する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決